

玉島川水系玉島川 広域河川改修事業

1

位置図



出典: 国土地理院

2

事業目的

○流下能力不足による浸水被害が発生

平成3年9月洪水

浸水戸数 床上浸水34戸

床下浸水65戸

○浸水被害の軽減を図る

- ・河道拡幅、河床掘削を実施
- ・治水安全度の向上を図る

計画流量 $550\text{m}^3/\text{s}$

計画治水安全度 $1/30$

3

平成3年9月（台風17号）玉島川



床上浸水 34戸
床下浸水 65戸

連続雨量175mm
最大日雨量175mm
時間最大雨量82mm
(佐賀气象台和多田観測所)



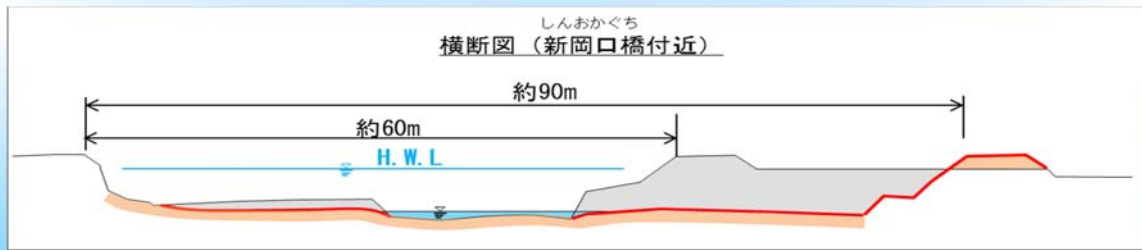
4

玉島川広域河川改修事業 着手年:昭和55年度 事業地:唐津市

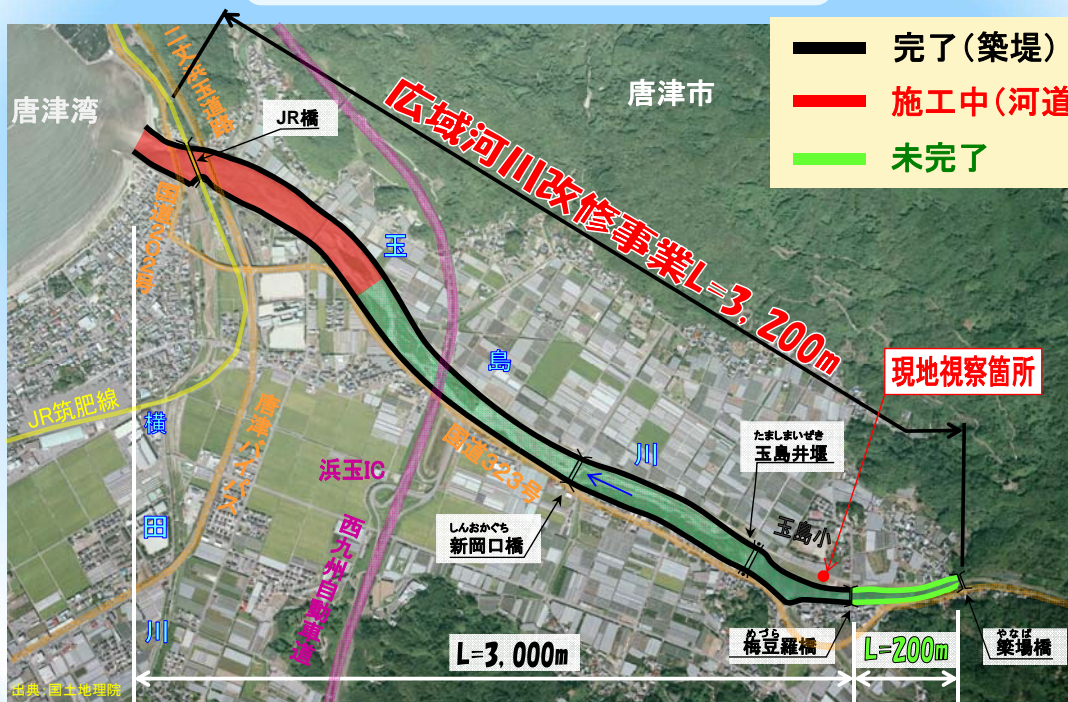


○事業概要

- ・全体事業費 4,800百万円
- ・事業期間 S55~H32
- ・改修延長 3,200m
- ・計画流量 550m³/s
- ・計画治水安全度 1/30
- ・築堤・掘削・護岸、橋梁3基、JR橋1基 堰1基
- ・費用対効果 2.6



玉島川 航空写真



○事業進捗状況

- ・河口から梅豆羅橋下流までの約3,000mの改修を概成。
- ・H26年度末進捗率 約90%(事業費ベース) ・年平均進捗率 2.6%

費用対効果 B/C

総費用額C: 治水施設の整備及び施設完成後50年間の維持管理に要する総費用

総便益額B: 治水施設整備によってもたらされる施設完成後50年までの総便益額 (被害軽減額)

(総費用額C及び総便益額Bをそれぞれ現在価値化し比較する)

総費用C: 10,969百万円

総便益B: 28,994百万円

内訳

・一般資産被害(家屋、事業所等)	1,422百万円
・農作物被害(水稲、畑作物等)	25,803百万円
・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁等)	1,471百万円
・間接被害(事業所の営業停止被害、清掃費用等)	231百万円
・残存価値	67百万円

※ 費用対効果

$$B/C = 28,994 / 10,969 = 2.6$$

7

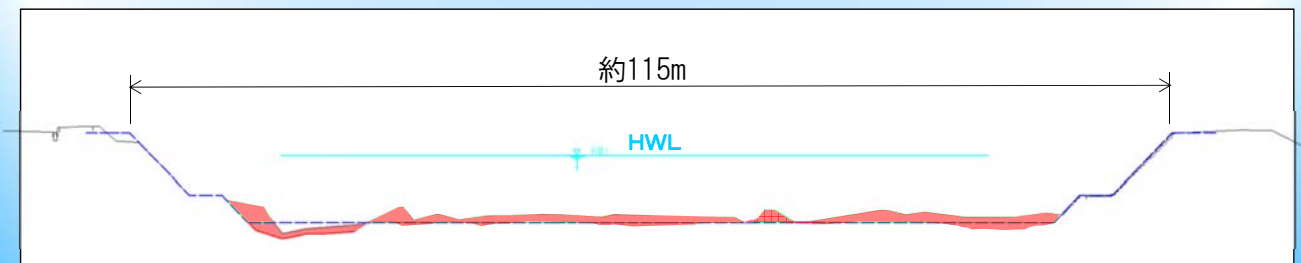
下流部の改修概成状況



たましまいげき
玉島井堰完成



めづら
梅豆羅橋下流(現地視察箇所付近)



8

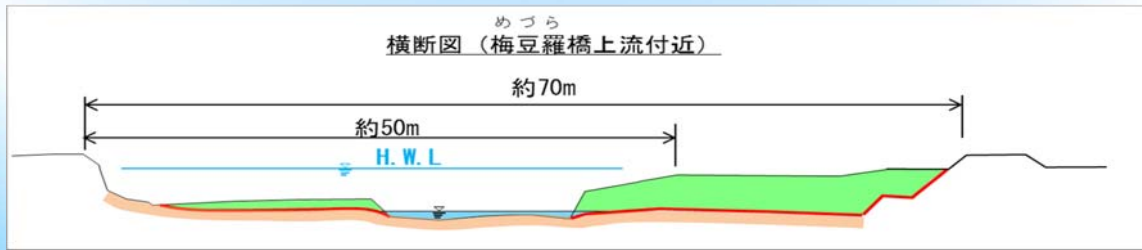
上流部の未改修区間の状況



めづら
梅豆羅橋上流



やなば
築場橋下流



環境に配慮した整備の実施



H27.7に捕獲調査したアユ



アユの食み跡

平成24年7月（梅雨前線） 玉島川



西九州自動車道より下流の状況

連続雨量168mm
最大日雨量168mm
時間最大雨量47mm
(梅豆羅橋観測所)

**堤防天端付近
まで水位が上昇！**



西九州自動車道より上流の状況

11

玉島川広域河川改修事業の 対応方針(案)

☆河川改修の効果☆

- ①治水安全度の向上
- ②平成3年9月洪水による
床上浸水 34戸
床下浸水 65戸 の解消
- ③地域住民の安心・安全の確保

☆今回事業評価の対応方針☆

・事業を継続し、早期完成を図りたい

12